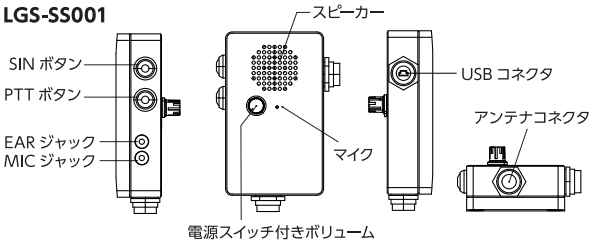
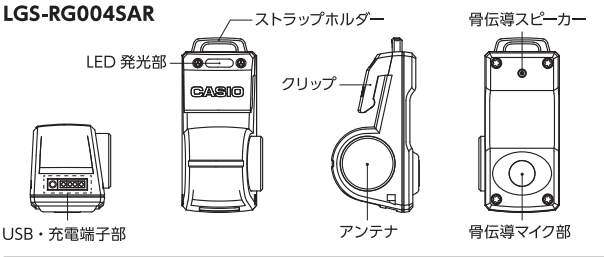


製品仕様

		LGS-RG004SAR レスキューモデル	LGS-SS001 陸上機
外装	大きさ	89.0mm×41.0mm×44.8mm	75.0mm×125.0mm×35.0mm
	重さ	約 107g	約 285g
	防水	耐水圧 55m	生活防水 (IP-55 相当)
	使用温度	0～40℃	0～40℃
音響部	マイク	骨伝導マイク	コンデンサーマイク
	スピーカー	マグネチック型骨伝導スピーカー	ダイナミック型スピーカー
通信部	チャンネル	1ch	1ch
	周波数	(超音波) 32kHz USB (帯域) 4kHz、SSB-AM 方式 ※日本国内での超音波水中利用の法規制はありません。	(超音波) 32kHz USB (帯域) 4kHz、SSB-AM 方式 ※日本国内での超音波水中利用の法規制はありません。
	アンテナ	セラミック圧電素子	円筒形セラミック圧電素子 ※ケーブルの長さ 10m/30m
	最大通信距離	75-150m ※使用する環境 (相手との位置関係・波やうねり・透明度・障害物) によって通信距離・音声の明瞭度が変化します。	200m ※陸上機から Logosease トランシーバー・レシーバーへの最大通信距離。使用する環境 (相手との位置関係・波やうねり・透明度・障害物) によって通信距離・音声の明瞭度が変化します。
	指向性	アンテナ前面が相手と向き合ったときに最大の送受信パワー、相反したときに最小の送受信パワーになる (シャドーゾーンを除く)	アンテナ円筒形外周方向の指向性は無いが垂直方向あり。
表示部 (LED)	電源スイッチ ON (電池残量表示)	電池残量を 3 段階表示 (緑色、青色、赤色) 緑色点滅: 満充電 青色点滅: ダイビング 1 回分の残量 赤色点滅: 要充電	電池残量を 3 段階表示 (緑色、青色、赤色) 緑色点滅: 十分な電池残量 赤色点滅: 要充電
	送信モード	桃色点灯	桃色点灯
	受信モード	黄色点滅	黄色点滅
	ホイッスルモード	赤色点滅	—
	充電中	赤色点灯	赤色点灯
	充電終了	充電が完了したら消灯	充電が完了したら消灯
操作部	受信→送信	受信中にタッピング 1 回: 送信開始 受信中に VOX: 送信開始	PTT ボタンを押す: 送信開始 ※押しながらマイクに向かって話す
	送信→受信	送信中にタッピング 1 回: 送信終了 (受信開始) 送信中に 3 秒間無音状態: 送信終了 (受信開始)	PTT ボタンを離す: 送信終了 (受信開始)
	サイン波	—	SIN ボタンを押す: 「ビー」というシグナル音を送信開始 ※離すと送信終了 (受信開始)
	外部端子	—	MIC ジャック (φ3.5mm ジャック 適合インピーダンス 2.2Ω以下) EAR ジャック (φ3.5mm ジャック / ステレオ 適合インピーダンス 16Ω/32Ω)
記録部	フラッシュメモリ	512MB	—
電源スイッチ	ON	水検出で電源 ON (受信開始)	電源スイッチ付ボリュームのつまみを右に回す
	OFF	1 分間、水に入っていないときに自動的に電源 OFF	電源スイッチ付ボリュームのつまみを左に回す
バッテリー	定格	Li-ion バッテリー 560mAh	Li-ion バッテリー 2210mAh
	充電方式	USB 充電方式 (500mA 充電で約 2 時間)	USB 充電方式 (500mA 充電で約 5 時間)
	持続時間	約 3 時間 (内、10%が送信時間の場合)	約 12 時間 (内、10%が送信の場合)
機能	保守	Li-ion バッテリーはメーカー交換	Li-ion バッテリーはメーカー交換
	ボイスレコーダー機能	ダイビング中の会話の記録 (最大 480 分録音可能)	—
	カスタマイズ機能	パソコン (Windows のみ) と接続して各種設定	—
	トレーニングモード	自分の発声をその場で再生可能	—
	ホイッスルモード	エア消費無しで一定の音量のシグナルを発信	—
	ダイブコンピュータ警告音サポート機能	ソーラー充電タイプのダイブコンピュータの警告音を音声 (もしくはシグナル) で通知	—
	音声ガイド	操作やモードを音声で通知	—
付属品		充電スタンド、USB ケーブル、ストラップ、会話トレーニングシート	USB ケーブル





Jレスキューに掲載

2014 年 5 月号 (Vol.69)
2015 年 7 月号 (Vol.76)

既に導入している水難救助隊の
装備として掲載

**Logosease** スペシャルサイト
<http://logosease.yamagata-casio.co.jp>

**Logosease 公式 Youtube**
製品情報や詳しい使い方を動画を紹介しています。
<http://www.youtube.com/user/YamagataCasioJapan>

**Logosease 公式 facebook**
開発現場の裏側やコラムなど、情報満載の公式 facebook ページ。
<http://www.facebook.com/YamagataCasioLogoSeaseJapan>



山形カシオ株式会社

〒999-3701 山形県東根市大字東根甲 5400 番地の1

《機能・操作・購入先のご相談窓口》

マリンシステム
0237 - 43 - 5168
(受付時間 月曜日～金曜日 AM9：00～PM5：00
土・日・祝日・弊社指定休業日は除く)

msinfo@yamagata.casio.co.jp

このカタログは 2016 年 9 月現在のものです。

 **注意** 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず取扱説明書をお読みください。

お問い合わせ・ご用命は・・・

●Logosease は山形カシオの商標です。●仕様および外観は予告なく変更される場合がありますのでご了承ください。
●カタログと実際の商品の色とは、印刷の開版で多少異なる場合があります。●商品には保証書がついています。お求めの販売会社で
所定事項を記入した保証書を必ずお受け取りください。●本商品は水中で陸上のように明瞭な発音で会話がおこなえるものではありません。
●通信用途で本商品を使用する際は、2 台以上が必要です。

CASIO

SEARCH AND RESCUE CATALOG

水難救助・作業潜水用カタログ



Logosease

ダイブトランシーバー **Logosease**
ロゴサイズ



水中局

レスキューモデル LGS-RG004 SAR

マスクに装着するだけで、レギュレーターを咥えたまま 水中で会話ができるトランシーバー。ポケットサイズでケーブルレス。超音波で通信し、骨伝導で音を伝達する。視界の悪い現場でも使用でき、話者の大体の位置を特定できる。

- ・最大水深： 55m
- ・最大通信距離： 75 ～ 150m(※1)
- ・持続時間： 約 3 時間
- ・レジャーモデルに比べ、実質通信エリア 30%向上

¥79,800 / 台 (税込¥87,780)



装着が簡単

マスクストラップに取り付けるだけ。

緊急シグナルの発信

エア消費無しで一定の音量のシグナルを発信できる。

既存の器材のほかは 専用装備品が不要

簡単な会話はフルフェイスマスクを使わずに話せる。

発信方向を探索できる

近くにいる人の声は大きく、
遠くにいる人の声は小さく聞こえる。

壊れにくい構造

水没の原因となるケーブル・開閉部・スイッチ無。
USB 充電方式の為、バッテリーの液漏れの心配不要。

災害発生時も使用可能

市販の USB アダプターが使える為、
自動車のシガーソケットからも充電可能。

従来品と比べ、安価で軽量

メンテナンスが簡単で、維持費も安い。

ダイバーの状況把握

リアルタイムに確認できる。

活用シーン例



作業潜水



水中で陸上から指示が受けられる



透明度の悪い現場でも使用可能



水難救助訓練

陸上局

陸上機 LGS-SS001

Logosease を付けたダイバーとコミュニケーションがとれる、ハンディタイプの陸上機。最大 200m先へも届く(※1) 緊急信号用ボタン付き。

- ・最大通信距離：200m
陸上局から水中局→最大 200m
水中局から陸上局→最大 60m
- ・持続時間：約 12 時間
- ・生活防水：IP-55 相当
10mアンテナ付本体 ¥260,000 (税込¥286,000)
30mアンテナ付本体 ¥275,000 (税込¥302,500)

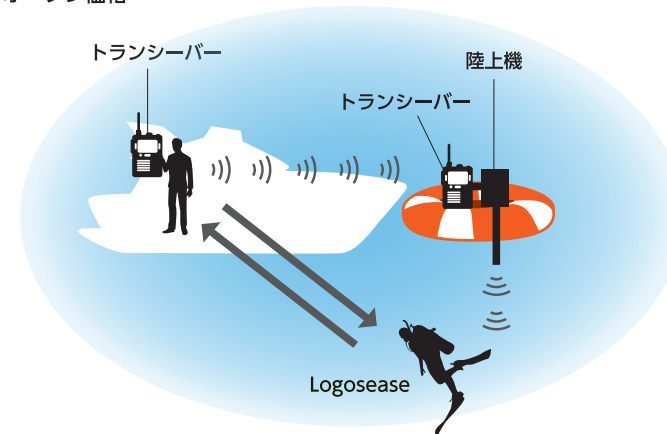
- 10mアンテナ単品 ¥90,000 (税込¥99,000)
- 30mアンテナ単品 ¥110,000 (税込¥121,000)



トランシーバーシステム LGS-SS001-TRX

中継器と離れて Logosease をつけたダイバーとコミュニケーションがとれる。
通常の陸上機 (LGS-SS001) としても使用可能。

オープン価格



JAPAN Justice

株式会社 ジャパンジャスティス
代表取締役 仲田幸正さま (特定潜水士)
愛知県蒲郡市大塚町西屋敷 30-11

視界の良好な港沖の他、透明度 0 ～ 50cm の環境でもバディとの交信は可能でした。今までのタンク (スクーバ) 潜水ではフーカー潜水とは違い、船上の作業員と交信する事が出来なかった為に「安全」という面では不安があり原始的な安全管理の仕方しかありませんでした。当社の安全基準でタンク潜水時は Logosease の使用を義務づけており、タンク潜水するダイバーの状態を把握出来るようになり、ダイバーも安心して潜水業務が行えるようになりました。潜水作業をする前に国土交通省や県へ提出する書類へは、当社は必ず「安全装置」として「Logosease」と記載しています。今後のタンクでの作業潜水の安全設備として、より多くの潜水士が使用してほしい製品です。

※1 使用する環境 (相手との位置関係・波やうねり・透明度・障害物) によって通信距離・音声の明瞭度が変化します。※2 本商品は、陸上と同等の明瞭度で会話がおこなえるものではありません。※3 本商品は、双方向同時通話はできません。